



# 藻岩嶺

題字：田下

## ～市民公開講座開催しました～



平成30年10月20日第14回平松記念病院市民公開講座を開催いたしました。  
今回は当院副院長傳田健三医師より「大人の発達障害について」の講演でした。

メディア等でも取り上げられることが多くなってきたテーマであり、症状や治療法など改めて詳しく知る機会になりました。講演後の質疑応答でもたくさんの質問があり、終始和やかな雰囲気でした。終了後に回収したアンケートでは、「ユニークな例を交えての講演で大変勉強になった」「近くに専門病院があることを知り心強い気持ちになった」と大変うれしい感想が多く寄せられました。また、当院の大人の発達障害外来についての問い合わせも数多くいただきました。

今後の公開講座につきましては当院ホームページ等でお知らせしてまいりますので、皆様のご参加お待ちしております。（文責：井村）



### 理念 適切な精神科医療・保健・福祉を目指し 次の二つの柱を基礎に据えます

- 1.精神障害者の医療および保護を行い自立のために、社会復帰および社会的経済活動への支援をします。
- 2.その障害の予防に取り組み、市民の精神保健の向上を目指し、地域に根ざした病院を目指します。

### 基本方針 理念を実現するために5つの基本方針を定めます

- 1.私たちは、人権を尊重し、信頼と満足感を持っていただけるように努めます。
- 2.私たちは、あいての身になって受容的態度をもって接するように努めます。
- 3.私たちは、自己研鑽に努め、情報を共有し、連携・協力し合うチーム医療を目指します。
- 4.私たちは、常に新しい医療・保健・福祉システムを提供できるように努めます。
- 5.私たちは、地域における自らの役割を認識し、地域に貢献します。

### 患者さんの権利と責務について

#### 患者さんの権利

私達は、患者さんの以下の権利を遵守して日々の医療を行います。

- 1.安全で適切な医療を公平・平等に受ける権利
- 2.個人として人格を尊重される権利
- 3.治療、病状、検査などについて、十分な説明を受ける権利
- 4.十分な説明や情報提供のもと、どのような医療を受けるかを選択する権利
- 5.個人情報やプライバシーが守られる権利
- 6.セカンドオピニオンを受ける権利
- 7.精神保健福祉法を遵守した医療を受ける権利

#### 患者さんの責務

- 1.最善で適切な医療を受けるために、病状経過や過去の治療歴・アレルギー歴などの情報を提供する必要があります。
- 2.治療効果をあげるために、医療関係者と共同して治療に取り組む必要があります。
- 3.円滑な医療サービス体制を確保するために、病院や社会生活上のルールやマナーを遵守する必要があります。



冬のやまはなサンパーク

### 「平成31年度からの病院の考え方」

理事長挨拶2019



平松記念病院理事長・院長 宗代次

平松記念病院は、地域住民の皆さまのニーズ対して、精神医療の治療とリハビリテーションを提供していくことをめざしております。  
精神疾患が国の5疾病5事業に、(疾病は、がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病及び精神疾患とする。医療法第30条の4第2項第5号)なっております。少子高齢化社会における、心の健康相談から精神障害の治療まで、精神医療は多様化しております。

少子高齢化の流れは、これからも進んでいくでしょう。

少子化の視点から見ると、うつ病などの気分障害、発達障害、引きこもりから来る孤立感、自己不全感を持つストレス性のこころの問題は、世代を超えて起きうる状況にあります。一方高齢化の視点から見ると、多くのこころの問題を抱えながら、加齢とともに軽度から重度の認知機能の障害に向き合わざるを得ない状況にあると思います。

私たちは、医師、看護師、薬剤師、精神保健福祉士、作業療法士、臨床心理士、栄養士等々の専門領域で研鑽を深め、協働して、精神医療の質を高め、地域の多様化しているニーズに応えたいと考えております。

更に、地域の他の医療機関とも連携をして、急性期医療から在宅医療、福祉まで、地域包括ケアシステムの一端を担えるように努力をしていきたいと考えております。

編 集 後 記 ...

新年明けましておめでとうございます。

4月から平松記念病院に入職し、広報誌第45号より広報委員となりました作業療法士の松浦と申します。

30年続いた平成も終わり、新たな年号としての1年が始まりますね。皆様の今年の目標・過ごし方等もう決まっているのでしょうか。作業療法士としての仕事はもちろん、新たな情報を発信していけるような広報委員の一員としても頑張っていきたいと思っております。

皆様にとってもよい1年となりますようにお祈り申し上げます。本年も藻岩嶺をよろしくお願致します。

広報委員 松浦

発行人：平松記念病院 広報委員会  
発行日：2019年1月発行

☎064-8536  
札幌市中央区南22条西14丁目1番20号  
ホームページ：<http://www.hiramatsu-mhp.or.jp>

お問い合わせ：  
E-mail: [webmaster@hiramatsu-mhp.or.jp](mailto:webmaster@hiramatsu-mhp.or.jp)  
TEL:(011)561-0708 FAX:(011)552-5710

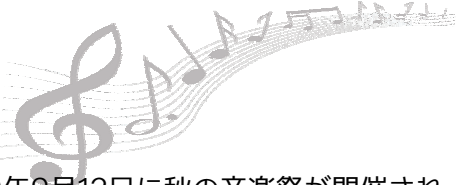
表紙写真提供：広報委員



# 音楽祭



平成30年9月12日に秋の音楽祭が開催され、札幌を中心に活動されているパレットの皆さんに来ていただきました。素敵な衣装を着てフルート、マリンバ、ピアノの演奏はとても華やかで素敵な音楽祭となりました。(文責：松浦)



# もいわ展



10月10日にもいわ展が開催されました。外来と入院の患者さん併せて170名以上参加され、毎年人気の喫茶や即売も大賑わいでした。日々の活動で作られた作品をお披露目する機会となり、活動に参加されていた方々もとてもよい表情をされていました。

今後も活動で作った作品のお披露目の場としてもいわ展を続けていけるように頑張りたいと思います。(文責：松浦)



# X'mas会

平成30年度のクリスマス会は12月19日に行われました。今年のゲストはゴスペルシンガーの横尾美穂さんでパワフルな歌声を披露してくださいました。また、OTスタッフの催しもあり、ちびまる子ちゃんのキャラクターになってピンクレディーなどのダンスを踊ってくれました。普段とは違う雰囲気スタッフと馴染み曲に、会場では沢山の笑顔が見られました。来年もさらにみなさまが楽しめるクリスマス会を作っていきたいと思います(文責：松浦)



# メリデン版訪問家族支援について

平松記念病院 デイケア科 盛 和夫(作業療法士)

皆さん、「メリデン版訪問家族支援」という言葉を聞いたことがありますか？

「メリデン版訪問家族支援」とは、1970年代から1980年代よりイギリス・アメリカ・イタリア・カナダ・ニュージーランドなど世界各国で普及しているBFT (Behavioral Family Therapy=行動療法的家族療法) と呼ばれる家族支援の方法で、日本でもこれまで何度も紹介されています(一般社団法人ファミリーワークプロジェクトHPより抜粋)。詳細は一般社団法人ジャパンファミリーワークプロジェクトのHP <https://meridenjapan.jimdo.com/>でもご覧いただけます。

私は当院のデイケアに勤め十数年が経ち、これまで沢山の患者様と関わらせていただきました。その一方でご家族の方との接点と言われますと決して多くないというのが現状です。そのような中で「メリデン版訪問家族支援」の存在を知り、昨年に入門研修と基礎研修を受講してきました。

研修の中で対象者、家族、支援者が協働しながら“本人と家族を丸ごと支援していく”という視点、その支援方法は理論立てられておりしっかりと技術が確立しているということ学ぶことができました。

また日々の臨床の場面で、患者様本人の訴えには共感サポートタイプに接する光景はごく当たり前ですが、ご家族の訴えに対しては情報としての聞き取りは行う一方で共感やサポートタイプな関わりはどれだけ行えていたのだろうかという反省も生まれました。

現在当院では同じ研修を受けた小林佳奈子作業療法士(アウトリーチ科)と共に訪問看護部門の協力も得ながら、訪問家族支援をスタートしております。患者様ご本人とご家族がお互いに理解しあい支援していけるような関係性となるよう支援を進めて参りたいと思っております。

もしご興味のある方は当院スタッフまでお問い合わせいただければと思います。



盛 和夫作業療法士、小林 佳奈子作業療法士



# 学会参加報告

昨年10月に長野で開催された第7回日本精神科医学会学術大会に参加してきました。なんだかんだで第1回から皆勤賞で参加している学会だったりします。よく学びよく遊べをモットーに発表後は限られた時間でそこでしか見れないものや体験をしたり…ご当地の味にありつけるのも、学会の楽しみの一つだったりします。信州蕎麦は食べたいなぁと思っていたわけですが、現地の人に薦められ入った店の店員から「北海道産の蕎麦粉使ってて、美味しいですよ」とまさかの一言。北海道から来たので〜、と丁寧に店を後にし、二軒目でようやく信州蕎麦なるものを見つけました。さて、今年は7月4〜5日に札幌で第8回日本精神科医学会学術大会が開催されます。宗先生が大会長を務めます。職員一同協力して準備を進めてまいりたいと思います。(山田臨床心理士)

